

こんにちは！常陸大宮大使です

一般財団法人 常陸大宮市体育協会理事長 安野 茂雄さん



ひたちおみや
常陸大宮
たいしかん
大使観②

私のあの日、あの時

来年の東京オリパラを目前にして、今年は茨城国体の年、また常陸大宮市市制施行15周年の年でした。

私は地内の歴史ある鎮守『甲大宮』にちなむ大宮町に生まれ、昭和30年合併で盛り上がっていた頃、陸上走高跳高校全国2位の実績から勧誘を受け中央大学へ入学しました。メルボルンオリンピックの候補に選ばれた学生時代の感動は今でも鮮明に覚えています。

ある日、東京でイチクレコードの文芸部長さんから大宮町の戦前活躍された天才美声歌手で国民的人気のあった「小野巡」さんの話を聞き、故郷の有名な大先輩の偉大さを感じたのもこの頃です。

以前、世界陸上ジュニアオリンピック日本代表選

手団の団長としてシドニーへ遠征した際、各国のジュニア選手の中で感じたことを子供たちによく話します。「一生懸命練習して上手になることは素晴らしいことです。しかし挨拶をしたり、友達を心配してあげたり、両親をはじめ人々に感謝できるようになることはもっと素晴らしいことです。皆さんの日々の練習は立派な大人になるための練習でもあるのです。」

あれから60年、今は市体協の理事長の立場として、市のスポーツ施設管理運営から市民の健康の保持増進と併せ、さまざまな事業を展開しています。今の常陸大宮市はオリンピックにも似た前進と躍動を感じます。私はこれからも常陸大宮市推進のお手伝いをさせていただきます。

まちのできごと

10/7

人権擁護活動大臣表彰

市の人権擁護活動に多くの功績があったとして、諸澤好一郎さん（野口平）が法務大臣から表彰されました。諸澤さんは、平成25年から人権擁護委員として、皆さんからの人権相談や人権思想の啓発活動を積極的に行うなど、2期6年に渡り広く人権擁護活動に貢献されました。



▲左から三次真一郎市長、諸澤好一郎さん
尾又真一常陸太田支局長

10/10

地域ケア会議

おおみやコミュニティセンターで医療職、介護職、民生委員、シルバーリハビリ体操指導士など総勢109人が参加し、地域ケア会議を行いました。

今回は、国民健康保険美和診療所所長高橋健先生から健康長寿のポイントとなる「老年症候群（フレイル）」について講話を聞き、これからの介護予防の取組みについて考えました。いただいた意見をもとに本市の政策形成につなげることを目指します。



▲熱心に受講されていました

10/17

さつまいも掘り

村田小学校では、自然と積極的に関わり、進んで勤労・生産する姿勢を育てること目的として、おやじの会から協力をいただき、さつまいもの苗植えから収穫までの生産活動を行っています。

さつまいも掘り当日は、子供たちは縦割り班ごとに協力しながら丁寧に土を掘り、大きなさつまいもに歓声があがりました。収穫したさつまいもは、収穫祭で、保護者やお世話になった地域の方にも振る舞われました。



▲たくさん獲れたね！

10/24

小中学校音楽祭

市文化センターロゼホールで、市内の小中学校15校が参加し音楽会が開催されました。開会式後、学校単位で合唱や合奏、吹奏楽の演奏が披露されました。放課後に一生懸命練習した成果をステージの上で発揮し、観客席からは大きな拍手が贈られていました。閉会式では、仁平良治先生から講評をいただきました。



▲大宮西小学校の合唱

10/25

行政相談出前教室

県立小瀬高校で3年生を対象に、行政相談委員による出前教室が開講されました。行政相談の仕組みについて説明の後「よりよい社会づくり」「地域活性化・地方創生」という2つのテーマでグループごとにワークショップを行い、発表しました。参加した生徒たちからは、「自分たちの声が行政に反映されるように活動されている方々がいるということを知った」、「行政相談を知って地域に関心を持つきっかけになった」などの感想がありました。



▲いろいろなアイデアが出ました

10/29

茨城県青少年相談員研修大会

茨城県青少年相談員研修大会で、市青少年相談員会会長の大森留里子さんが、青少年相談員功労者表彰（県連役員表彰）を受賞しました。この研修大会は、青少年の健全育成と非行防止に向け、各市町村で活動している青少年相談員の資質の向上と更なる活動の促進を図るため実施されているもので、今回で49回目になります。今回の研修大会には常陸大宮市の青少年相談員8人が参加し、インターネットやSNSの現状や危険性について学びました。



▲おめでとうございます

9/19・10/25

教育委員会で事業等を点検・評価

市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行っています。

評価委員として、茨城大学人文社会科学部教授西野由希子さん、元県職員新家洋一さん、元県教職員栗田将夫さんの3人に委嘱し、平成30年度の活動状況及び事務事業のうち8事業について、点検・評価を実施しました。

その結果、教育委員会会議の開催状況、協議、報告等は適正に執行されているとの意見が出されました。点検評価対象の8事業については、「拡充」2事業、「現行どおり」4事業、「見直し」2事業と評価されました。

「拡充」と評価された事業のうち、「英語指導員及び指導助手配置事業」では、児童・生徒の国際理解教育、英語教育をさらに充実させるために拡充すべき事業であるとの意見が出されました。

また、「文化財保護事業」では、常陸大宮市の文化財は全県的に見ても模範となるものであり、子々

孫々に継承するため、文化財の保護、修理等が進められることを大いに期待するとの意見が出されました。その他の意見等については、市ホームページをご覧ください。

市教育委員会では、毎年教育行政点検評価を実施し、教育委員会活動の透明性を高め、市民の方から信頼される教育行政を推進していきます。



▲吉田八幡神社（改修工事終了後）

10/30

緊急要望書を提出

令和元年台風第19号の影響により本市でも、多くの中小企業や個人事業主などの建物・生産設備等にも甚大な被害を受けました。梶山弘志経済産業大臣が市内の事業所の被災状況を視察した際に、事業継続や一刻も早い復旧のために、被災した施設・設備等に係る助成制度を創設するなどの必要な支援策を要望しました。



▲要望書を手渡ししました

11/3

ふれあい広場

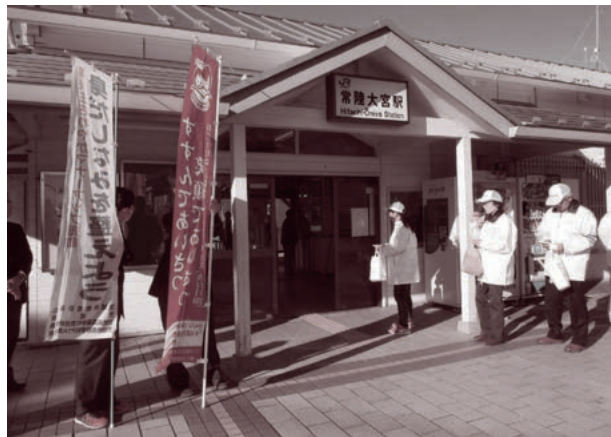
第31回ふるさと祭りおみやふれあい広場が西部総合公園体育館多目的グラウンドで開催されました。今年も、友好都市協定を締結している秋田県大館市から、「きりたんぼ鍋」や「りんご」などの特産品や、常陸大宮高校の食物部が「しょうゆおこわ」などを出展していました。会場は、多くのお客様にぎわい楽しい秋の1日となったようです。



▲美味しい特産品にたくさんの人が並びました

11/5 さわやかマナーアップキャンペーン

茨城県では、11月を「あいさつ・声かけ運動強調月間」としています。今年も常陸大宮高校の生徒と市青少年相談員で、JR常陸大宮駅を利用する多くの方にポケットティッシュを配布しながら、元気に声掛けを行いました。本市では、登下校する子供たちへの声かけやあいさつを交わすことで、地域でのコミュニケーションの輪を広げ、子供たちを健全に育てることを目的に、あいさつ運動を継続していきます。



▲声掛けの様子

11/13 県功労者表彰

県勢の発展に著しい功績があった方々を称える茨城県表彰式が茨城県庁で開催され、本市からは、個人1人と1団体が表彰されました。篠田栄治さんは、勤労者福祉の向上に尽力され、本県労働界の発展に貢献されました。常陸大宮地域農村女性ネットワーク（代表：角田いく子さん）は、地元農産物の加工技術の向上や郷土料理の研究に取り組み、消費者の交流活動をととして県北食材のPRに取り組んだことが評価されました。



▲おめでとうございます

11/9-10 集中曝涼

文化財一斉公開「集中曝涼」が実施されました。この行事は、普段大切に保存されて、見ることのできない貴重な文化財を「虫干し」するとともに多くの人に見ていただくこと、一斉公開しているものです。

今年の公開場所は、国長の阿弥陀院、鷲子の善徳寺、下町の甲神社、高部の岡山家養浩園と喜雨亭、西塩子の回り舞台、檜沢城、文書館、歴史民俗資料館の8か所でした。天気にも恵まれ、全体で延べ約2,000人もの来場者がありました。合わせて行われたスタンプラリーで、6か所以上を集めて限定グッズを獲得した方も40人以上いました。

阿弥陀院、善徳寺、甲神社では、年に1回、このときしか見ることのできない仏像彫刻や宝物が公開されました。

西塩子の回り舞台では、郷土民俗芸能のつどい(主

集中曝涼

催：茨城県）が開催され、県内各地の無形民俗文化財に指定された団体が芸能等を披露しました。

また、「森と地域の調和を考える会」と「茨城城郭研究会」の全面協力のもと、檜沢城と養浩園を散策するツアーも実施されました。檜沢城は市内で一番大きな山城で、佐竹一族の小室氏と檜沢氏が城主であったと伝えられています。主郭からは檜沢地区が見渡せ、守りの要所であったことが体感できました。

今年、庭木の伐採や地元有志による池の泥さらいなど大規模な庭の手入れが行われた養浩園では、山から引いた清水が流れる音や、日当たりが良くなり鮮やかに紅葉した巨大なヤシオツツジに感嘆の声が上がっていました。

本市には、まだまだ知られていないお宝が眠っています。来年もぜひお越しください。

11/14-15 農家民泊

緒川地域と山方地域の盛産地区などで、一般家庭に宿泊しながら農作業をしたり自然と触れ合ったり、さまざまな体験学習を取り入れた民泊事業が行われました。今回宿泊したのは、牛久市立牛久南中学校の2年生69人。野菜の収穫などの農作業、地元食材を活かした料理づくりや昔の遊びなどを体験しました。



▲畑での農作業体験

11/23 北斗星新そば祭り

道の駅みわ北斗星で、常陸秋そばの新そば祭りが開催されました。常陸秋そばは、風味が豊かで甘みがあり、玄そば最高峰ともいわれています。

冷たい雨が降るなか、今年の新そばを味わおうと大勢のお客様が並んでいました。熱々のけんちんそばでいただいた新そばは格別だったようです。



▲けんちんそば



▲甲神社



▲阿弥陀院



▲檜沢城



▲養浩園